

AFICAT ニュースレター(日本第 2 号)

2022 年 6 月 17 日発行

3 月下旬から AFICAT の活動がタンザニアで始まり
ました。そして 5 月中旬からは、ナイジェリアでも始
動しています。今回は、タンザニアでの本邦企業 2
社の現地活動、ナイジェリアでの AFICAT 運営チー
ムの活動について紹介します。

本田技研工業(株)さまによる現地活動

AFICAT 運営チームは、本田技研工業(株)さま(以下
Honda)の要望を受け、タンザニア農業省ら政府関係
者、農家などを対象に開催した製品のデモ/セミナー
を支援しました。4/27~29 の 3 日間、AFICAT の拠点
であるキリマンジャロ農業研修センター(KATC)の圃
場・施設内で開催され、当日は合計 19 名が参加しま
した。Honda 社員が自社の耕うん機、背負い式動力噴
霧器、ポンプ、刈払い機をデモンストレーションしな
がら、参加者に操作方法や特長を説明しました。耕う
ん機は小型の車軸式で、タンザニアでほとんど利用さ
れていない機種でしたが、操作した参加者は「小型のた
めしっかり耕せるか疑問があったが、パワフルで十分
に使用できる」とその性能を高く評価していました。



参加者へ操作方法や特長について説明する様子。パワフルに圃場
を耕しているのは車軸式耕うん機 FQ650(6馬力)

実機を使ったデモの後、Honda 社員と参加者が機械
の性能や操作性について意見交換しました。Honda
が考えるビジネスモデルや今後の販売活動などにつ
いても協議し、最終日には、今後の具体的な活動計画
についても話し合うことができました。今回の製品デ
モ/セミナーをきっかけに、次のデモ/セミナーの計
画など様々な活動が進行しています。今後も AFICAT

運営チームは、Honda を始めとする本邦企業の活動
を支援していきます。



タンザニアの農業機械化事情や、今後の Honda 製品のタンザニア
での展開について活発な議論が交わされる様子

(株)ケツト科学研究所さまによる現地活動

5/9 には(株)ケツト科学研究所さま(以下 KETT)とタン
ザニアをオンラインでつなぎ、製品のデモ/セミナー
を開催しました。KATC に集まったタンザニア農業省
や KATC 職員 11 名が、日本にいる KETT 社員とオン
ラインでつながり、KETT の水分計などについて活発
に意見を交換しました。



参加者が協力しながら、KETT 社員の指示のもと水分計などの実
機を操作。参加者からは、操作方法や機械の用途等について様々
な質問が寄せられた

製品デモ/セミナーでは、水分計 3 機種、白度計、テ
スト用の粳摺り機、精米機を用意しました。KETT 社
員から会社概要や製品紹介に続き、粳貯蔵時の水分



管理の重要性、アジア太平洋地域における当該分野の動向などについて説明いただきました。実際に参加者が製品を使用し、長粒米の水分率や白度を調べました。単粒水分計や静電容量式水分計について、質問が多く寄せられ、参加者は製品の使いやすさ、性能の高さに驚きの声を上げていました。KETT が作成した、製品の操作方法を紹介する動画(YouTube)も上映しました。当日の様子は JICA タンザニア事務所やアフリカ広場の Facebook でも紹介いただきました。

<https://www.facebook.com/JICATanzaniaa> (5/26 付)

<https://ja-jp.facebook.com/Africahiroba> (6/2 付)



オンラインで製品の使い方や特長を説明する KETT の吉田氏。遠隔の開催だったが、参加者との間で活発なコミュニケーションが図られた

ナイジェリアでの現地活動がスタート！

5 月中旬より、ナイジェリアで活動がスタートしました。まずは首都 Abuja でナイジェリア連邦農業農村開発省の関係部局と面談し、AFICAT 実施体制、今後の協力について合意を得ることができました。

また、ナイジェリア西部に位置する Kwara 州 Ilorin に拠点を置き、ナイジェリアの農業機械化促進を担う国立農業機械化センター(NCAM)を訪問し、農機製造ワークショップ、農機の倉庫、コメ栽培用の圃場など、NCAM が有する圃場や設備などを視察しました。AFICAT の窓口となる職員も任命され、AFICAT 活動について、前向きな協議を行いました。

ナイジェリアでは、ナイジェリア連邦農業農村開発省、その傘下の NCAM、そして首都 Abuja に隣接する Nasarawa 州を中心に AFICAT の活動を始めます。6 月末まで現地活動を継続し、本邦企業のセミナー等を予定していますので、次号ではその様子もお伝えし

ます。



NCAM 職員と AFICAT に関する今後の協力体制について、前向きな議論を交わす AFICAT 運営チーム



NCAM のワークショップにおいて、農機製造や性能評価方法などの説明を受ける

編集後記

今回のニュースレター、いかがだったでしょうか。次回以降も現地の様子が伝わるように執筆して参りたいと思います。引き続きご愛読いただけますと幸いです。

編集・問合せ

(株)かいはつマネジメント・コンサルティング

弓削田・狩野・魚住

Tel: 03-5791-5083 Mail: aficat.team@kmcinc.co.jp

AFICAT HP:(現在準備中です)

※ニュースレターの新規登録・登録解除をご希望の方は上記の宛先までお名前、所属先、メールアドレスをご連絡ください。

※AFICAT のご活用に関するお問い合わせも、上記の宛先までご連絡下さい。